

科名 泌尿器科 泌-26  
 対象疾患名 尿路上皮がん  
 プロトコール名 GEM+CBDCA (泌尿器)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	28
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		
2	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ デキサート 又は 点滴注 側管 グラニセトロンバッグ デキサート	0.75mg 9.9mg 1mg 9.9mg	30分かけて	↓						
3	点滴注	側管	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 50mL	30分かけて			↓		↓		
4	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	必ず30分で	↓		↓		↓		
5	点滴注	側管	カルボプラチン 生理食塩液	AUC 5 250mL	30分かけて	↓						

★1クール=28日

～MEMO～

day1: 催吐レベル3 (30%以上90%未満) day8,15: 催吐レベル2 (10～30%)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌: 間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

① 静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

- ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
- ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
- ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

② 点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

- ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
- ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。

<カルボプラチン>

投与量: AUC5 = 5 × (Ccr+25) mg/body

8回目以降の投与ではアレルギー症状を起こしやすいので注意すること。